

ワークシート
5・6年 ⑰

2章 4 はんざいひがい ぼうし
犯罪被害の防止

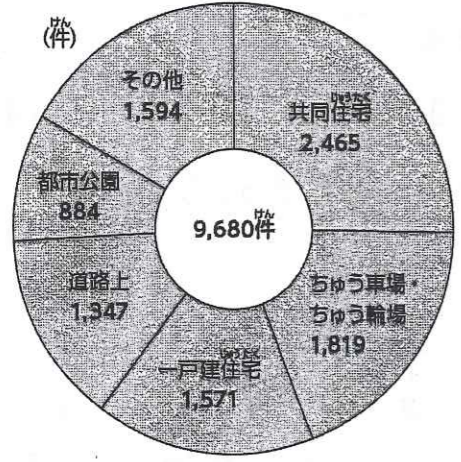
ステップ
2

教科書
p.34

学年 組 名前

● 犯罪被害は、どんな場所や状況で起こるのか、資料をもとに考えましょう。

小学生が犯罪被害にあった場所



警察庁資料より (2018年調査)

犯罪被害が起こりやすい状況の例



(1) 犯罪被害が起こりやすいほうの□に、しるし☑を付け、それぞれの理由を書きましょう。

- ① 周りから見えにくい所 周りから見やすい所 理由 犯罪者がいても見つけにくく、かんしがりにくい。
- ② かんたんに入出りできる所 かんたんに入出りできない所 理由 犯罪者が近寄りやすく、にげやすい
- ③ 明るい所 暗い所 理由 犯罪者がいたり、犯罪が起こった時に見つけにくい。
- ④ 一人でいるとき だれかといっしょにいるとき 理由 ほかの人に助けを求めるときができない。

(2) まとめ
周りから見え (① にくい) 場所、だれでも簡単に出入りでき (② 3) 場所は、犯罪が起こる危険性が高くなります。

ワークシート
5・6年 ⑱

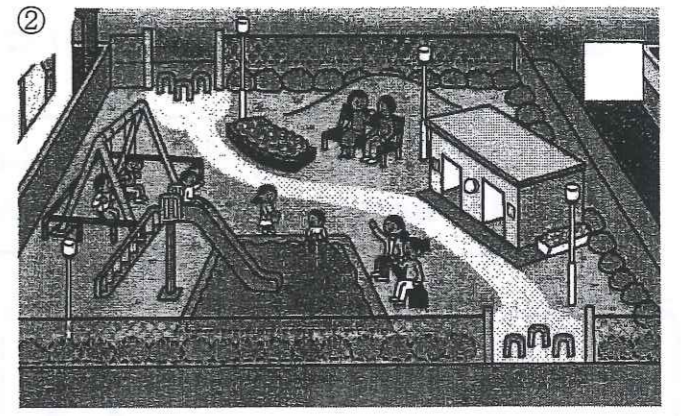
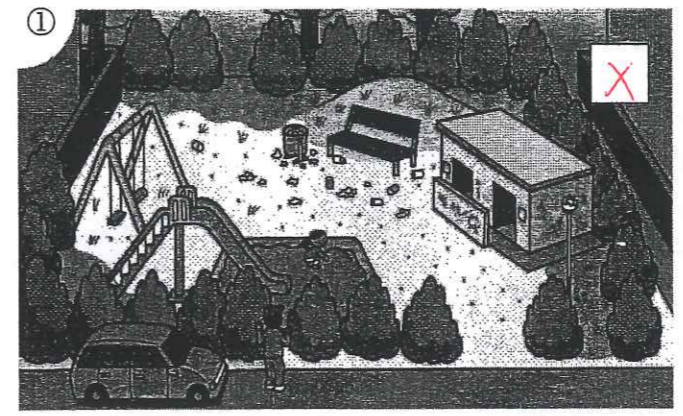
2章 4 はんざいひがい ぼうし
犯罪被害の防止

ステップ
3

教科書
p.35

学年 組 名前

● 下の二つの遊び場の絵を比べて、犯罪被害の防止について考えてみましょう。



(1) 上の①、②の遊び場のうち危険だと思うほうの口に×を付けましょう。また、その理由を書きましょう。

理由 (例)
ふいん着がのびている。周りの木で中の様子が見えにくい。ほかに人がいない。
まじない高い建物に囲まれている。ごみが散らかっている。落書きが99い。

(2) ×を付けた遊び場で犯罪被害にあわないようにするには、どうしたらよいでしょうか。

① 環境 (例)
周りの木を切ってフェンスなどにし、外から見やすいようにする。ごみを拾う。落書きを消す。地域の大人にパトロールしてもらう。

② 人の行動 (例)
一人で遊ばない。つきよやトイレのカギに行かない。あやしい人が入ってきたらにげる。

(3) ほかの人の意見を聞いて、考えたことや分かったことを書きましょう。